

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【第二東中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得状況について、偏りがみられる。 <指導上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能について、反復練習する時間を十分に確保できていない。	⇒ 「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等を活用し、基礎的・基本的な内容の反復・習熟に取り組む【毎週木曜日の朝に実施】。 また、「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等を授業中の課題に取り入れるなどして、定期的に取り組めるようにする。【毎日】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 学校生活において、話したり書いたりするような、自分の考えを表現することに課題がみられる。 <指導上の課題> 生徒が発表する場面の設定が十分になされていない。	⇒ 各教科の授業において、発表する場面の設定をより多くする。また、積極的にICT機器を活用することで、生徒が主体的に発表を行えるようにする【単元ごとに発表を実施】。

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

調査結果分析(7～8月)
 ①結果分析(管理職・学年主任等)
 ②詳細分析(学年・教科担当)
 ③分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		学力向上策【実施時期・頻度】
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)